



自動アクションの
実行

ハウツーガイド

4.1

カメラが動きを検知したときに オーディオクリップを再生する

AXIS Optimizer for Milestone XProtect®

AXIS[®]
COMMUNICATIONS

手順：

カメラが動きを検知したときにオーディオクリップを再生する

AXIS Optimizerでは、カスタムルールを設定して、カメラが動きを検知したときに自動的にオーディオクリップを再生するなど、リアルタイムのイベントへの応答として自動アクションを作成することができます。

要件

- 以下のいずれかにAXIS Optimizerをインストールします。
 - Milestone XProtect Express+
 - Milestone XProtect Professional+
 - Milestone XProtect Expert
 - Milestone XProtect Corporate
 - Milestone XProtect Essential+
- OManagement Clientに最新バージョンのAXIS Optimizerをインストールします。
- 1台または複数のAxis専用スピーカーまたはスピーカー内蔵Axisデバイス
- AXIS Audio Manager Edgeをインストールします (推奨)。

オーディオクリップをアップロードする

1. デフォルトのフォルダーにオーディオクリップを配置します。
例:
C:\Users\Public\Documents\AXIS Optimizer for Milestone XProtect- Audio Clips\
2. Management Clientで、[Site Navigation (サイトナビゲーション)] → [AXIS Optimizer] → [Speaker manager (スピーカーマネージャー)] に移動します。
3. [Audio clips (オーディオクリップ)] に移動し、アップロードするオーディオクリップの前にある [+] をクリックします。
4. [Audio Clip (オーディオクリップ)] に移動し、オーディオクリップの前にある [+] をクリックします。
5. AXIS Audio Manager Edgeモードを実行していない場合は、オーディオクリップを再生する各スピーカーについて、上記の手順1と2を繰り返します。各スピーカーには必ず同じ音声ファイルをアップロードしてください。

アクションプリセットを作成する

1. [Site Navigation (サイトナビゲーション)] → [Rules and Events (ルールとイベント)] → [Axis actions (Axisアクション)] に移動します。
2. [Audio Clips (オーディオクリップ)] に移動し、[Add new preset (新規プリセットの追加)] をクリックします。
3. AXIS Audio Manager Edgeモードを使用する場合は、[Select playback destination (再生先の選択)] に移動します。AXIS Audio Manager Edgeモードを使用しない場合は、[Select speaker (スピーカーの選択)] に移動します。
4. リストから、アップロードしたオーディオクリップを選択します。
5. 更新 (またはF5) をクリックします。

ルールを作成する

1. [Site Navigation (サイトナビゲーション)] → [Rules and Events (ルールとイベント)] → [Rules (ルール)] に移動します。
2. [Rules (ルール)] を右クリックし、[Add Rule (ルールの追加)] を選択して、名前を入力します。
3. [Edit the rule Name and Description (ルールの「名前」と「説明」の編集)] で、[event (イベント)] をクリックします。
4. 名前 (「動きで音声をトリガー」など) を入力します。
4. [Devices (デバイス)] → [Predefined Events (既定イベント)] に移動し、[Motion Started (動き開始)] を選択します。
5. [Edit the rule Name and Description (ルールの「名前」と「説明」の編集)] で、[devices/recording_server/management_server (デバイス/録画サーバー/管理サーバー)] をクリックします。
6. アクションプリセットまたはオーディオクリップをトリガーするカメラを選択します。
7. [Next (次へ)] を、[Step 3: Actions (ステップ3: アクション)] が表示されるまでクリックします。
8. アクション [Axis: Play audio clip: <preset> (Axis: オーディオクリップの再生: (プリセット))] を選択します。
9. [Edit the rule Name and Description (ルールの「名前」と「説明」の編集)] で、[preset (プリセット)] をクリックします。
10. 前の手順で作成したプリセットを選択します。
11. [Finish (完了)] を選択し、カメラで動きが検知されたときに目的のオーディオクリップが再生されるかをテストします。

使用開始のサポート資料

[AXIS Optimizer YouTubeプレイリストのビデオを視聴する](#)

[オンラインユーザーマニュアルを見る](#)

[その他のハウツーガイドをダウンロードする](#)

[AXIS Optimizerソリューションノートを読む](#)

特定の作業に対するステップバイステップのワークフローは、変更される場合があります。最新の説明については、[オンラインユーザーマニュアル](#)を参照してください。

自動アクションによる 応答時間と精度の向上

リアルタイムイベントの管理には手動操作が伴うため、ミスや遅延が発生するリスクが高まります。雨が降ってきたときに「ワイパーをオンにする」などのアクションを実行するのは面倒なことです。なぜなら、この種のアクションは一度に1台のカメラに対して手動で行わなければならない、時間がかかり単調な作業であるためです。そして、システムの規模が大きくなるほど接続されるデバイスの数が増え、より多くの時間と労力が必要になります。このようなリアルタイムのイベントにタイムリーかつ適切に対応できなければ、マイナスの影響が生じる可能性が高くなります。例えば、カメラのレンズに雨がかけると、ビデオの画質が低下する可能性があります。

AXIS Optimizerがこの問題をどう解決するか

イベントサーバープラグインは、AXIS Optimizerインストーラーに含まれるオプションのコンポーネントで、Milestone XProtectイベントサーバーにインストールされます。このイベントサーバープラグインを使用すると、特定のルールアクションを作成し、1台以上のAxisデバイスに実装することができます。システム管理者は、Axisデバイスで自動アクション（アクションプリセットとも呼ばれます）を実行するためのカスタムルールを素早く設定し、オペレーターの作業を簡素化することができます。

AXIS Optimizer for Milestone XProtectについて

AXIS Optimizerは、Milestone XProtectにおけるAxisデバイスのパフォーマンスを最適化する統合のスイートです。すべてのユーザーがAxisとMilestoneのシステムを最大限に活用しながら、時間と労力を大幅に削減することができます。新しいAxis製品に対応できるように継続的に更新されます。更新版は、axis.comからワンタイムインストーラーとして無料でご利用いただけます。

Axis Communicationsについて

Axisは、セキュリティとビジネスパフォーマンスを向上させるソリューションを生み出すことで、よりスマートでより安全な世界の実現を目指しています。ネットワークテクノロジー企業として、また業界をけん引するリーダーとして、Axisは映像監視、アクセスコントロール、インターコム、音声システムなどに関連するソリューションを提供しています。これらのソリューションは、インテリジェントアプリケーションによって強化され、質の高いトレーニングによってサポートされています。

Axisは50ヶ国以上に4,000人を超える熱意にあふれた従業員を擁し、世界中のテクノロジーパートナーやシステムインテグレーションパートナーと連携することで、カスタマーソリューションをお届けしています。Axisは1984年に創業し、本社はスウェーデン・ルンドにあります。